

様式第 5－1（日本産業規格 A 列 4 番）

令和 6 年 4 月 1 日

国土交通大臣 殿

住 所	沖縄県糸満市
氏名又は名称	糸満市地域公共交通協議会
	会長 大城 郁寛

令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
（地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業））交付申請書

令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業））金 5,000,000 円を交付されるよう、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和 30 年法律第 179 号）第 5 条の規定に基づき、別紙関係書類を添えて申請します。

令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(地域公共交通調査事業 (地域公共交通計画策定事業)) 交付申請事業

補助対象事業者名 糸満市地域公共交通協議会

(単位 : 円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の着手 及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
【名称】 糸満市地域公共交通計画策定業務 【内容】 ・ 各種ニーズに関する調査 ・ 地域公共交通の必要性ととりまく現状・役割と課題の把握 ・ 地域の公共交通計画 (案) のとりまとめ ・ 協議会の開催支援	着手予定日 : 交付決定日以降 完了予定日 令和 7 年 3 月 3 1 日	10,210,000	5,000,000

(添付書類)

(1) 補助対象経費に係る見積書

(2) その他補助金の交付に関して参考となる書類

地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業）の実施に関する計画

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

本市は、沖縄県の南部に位置し、人口 62,444 人(令和 5 年 10 月末現在)、総面積 46.63 k m²で、市域は全般に平坦となっている。市内の交通状況は、市南部と西部を結ぶ民営の循環線をはじめ、複数の路線バスが運行している。国道 331 号の全面開通により、県庁所在地の那覇市まで車約 40 分、空の玄関口である那覇空港まで約 10 k m の圏域で、那覇市向けの路線の運行頻度が高くなっている。糸満バスターミナルについてはバス路線の起終点として放射状の基幹路線と、市内の循環路線で形成された交通の要衝となっている。

65 歳以上の高齢者人口は 14,392 人(令和 5 年 10 月末現在)で約 23.0%、県平均 29.1%(2023 年)を下回っていますが、昨年より 0.5(令和 4 年 10 月末 14,055 人 22.5%)ポイント増加し、高齢化が進行している。特に、南東部三和地域においては、33%を超え、急速な高齢化が課題となっている。

本市の公共交通機関は、琉球バスが令和 3 年 10 月より市の商工業の中心地西崎地域等まで南部循環線を延長するなど再編を図っているが、利用者の低迷、人件費増加及び燃料価格等の高騰の費用増の影響で、令和 4 年の赤字額 23,709,816 円に対し、市から 23,709,000 円を補助額として拠出した。また、デマンドバス(いとちゃん mini)についても令和 3 年 10 月より、公共交通空白地帯のカバー、市民の外出の機会の確保、活力の向上及び持続的発展を実現する目的で 12 時間運行に拡充したが、国庫補助金を除き、市が 22,757,240 円負担している。

その他の交通手段としては、路線バスが運行されていないエリアや時間帯などの需要に対し、タクシーなどが市民の移動手段として利用され、公共交通の役割を担っている。

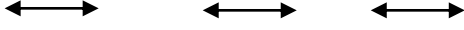
高齢化社会を見据えると、公共交通の需要は増加していくことは想定されることから、将来にわたって誰もが安全でアクセスしやすい総合的な公共交通システムの構築が喫緊の課題となっている。

2. 目指す交通計画と策定調査の必要性

本市の最上位計画である「第 5 次糸満市総合計画」まちの将来像として「つながりを深めチャレンジするまち糸満市」掲げている。また、まちづくりの具体性を示す「糸満市都市マスタープラン 改訂版」では、「つながりが生み出す新しいまちのカタチ」将来像の一つの目標として取り組んでいる。

持続可能な公共交通の構築は、まちづくり・健康・福祉・観光振興などさまざまな分野に多大な影響を及ぼす為、計画の策定あたっては、上位計画及び行政計画における将来像の実現と、本市の現状及び市民や利用者の意識調査から見える課題の解決に対応する地域の公共交通計画を策定する。

3. 事業の実施内容	
実施項目	実施内容
・各種ニーズに関する調査	市民、学生、観光客、企業等を対象としたアンケートやヒアリング調査により、住民の移動先、時間帯、手段等を網羅的に把握し、地域全体の移動需要を整理し、公共交通の利用率向上に向けた対応策を検討する。 また、市の関係各課等のニーズも詳細に把握し、ニーズにあった計画を検討する。
・地域公共交通の必要性ととりまく現状、役割と課題の把握	糸満市地域公共交通網形成計画策定後の地理的条件、道路網の状況、人口分布、施設立地などの地域特性を見直し、また、既存公共交通のルートや頻度などの運行状況の整理、バス停ごとの利用者数の把握等を行う。 補助対象路線の状況、デマンドバスの運行状況、民間送迎バスの状況を整理する。 糸満市の地域公共交通網に求められている役割に対する問題点と課題について整理を行う。
・地域の公共交通計画（案）のとりまとめ	糸満市地域公共交通網形成計画に基づき、糸満市の新たな公共交通の拠点づくりと、それに伴う市の交通網の再編を図る。 近隣市町との結節を強化する基幹軸や市内の移動需要に対応する将来的に持続可能な支援を計画に位置付ける。 生活交通確保維持改善計画の内容についても盛り込む。 各種ニーズに関する調査や糸満市地域公共交通協議会での議論を踏まえ、持続可能な公共交通網の形成にあたっての問題点や課題を整理し、上位計画や関連計画を踏まえ、地域にとって望ましい公共交通網のあり方についての基本方針をまとめ、それに向けた目標、事業の実施主体、スケジュール等を具体的に反映させた計画を取りまとめる。
・協議会の開催支援	計画策定に向けた調査内容や、調査結果を踏まえ、策定済みの糸満市地域公共交通網形成計画の問題点や課題を整理し、今後の交通体系の在り方を議論するための協議会開催支援。

4. スケジュール				
実施項目	4 月	9 月	12 月	3 月
・各種ニーズに関する調査				
・地域公共交通の必要性ととりまく現状、役割と課題の把握				
・地域の公共交通計画（案）のとりまとめ				
・協議会の開催支援				

5. 予算計画				
実施項目	総事業費 （見込み）	補助対象経費 （見込み）	国費 （見込み）	地域の負担 （見込み）
・各種ニーズに関する調査	3,707 千円	3,707 千円	1,853 千円	1,854 千円
・地域公共交通の必要性ととりまく現状、役割と課題の把握	3,966 千円	3,966 千円	1,983 千円	1,983 千円
・地域の公共交通計画（案）のとりまとめ	1,817 千円	1,817 千円	908 千円	909 千円
・協議会の開催支援	720 千円	720 千円	256 千円	464 千円
合計	10,210 千円	10,210 千円	5,000 千円	5,210 千円